

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2008-212555(P2008-212555A)

【公開日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-57619(P2007-57619)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前面が開口する箱形または枠形の筐体と、

該筐体の前面を閉鎖する閉鎖位置と前記筐体の前面を開放する開放位置との間で横開きの扉状に回動可能に支持された扉形前面部材と、

該扉形前面部材に配置され、遊技者に遊技の進行を指示させることが可能な遊技操作部と、

該遊技操作部の操作等に基づいて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

遊技の進行に準じて所定の演出制御を実行する演出制御手段と、

前記遊技制御手段及び前記演出制御手段が内部に組付けられるとともに、前面の少なくとも一部が開口するユニット本体、及び該ユニット本体の前面に設けられ前記扉形前面部材の回動方向と同方向に回動可能で且つ閉位置と開位置との間で遊動可能に支持された前面開閉部材、を有し、前記筐体内に交換可能な状態で収容される機種ユニットと、

該機種ユニットの前面または内部に設けられ遊技の状況を表す遊技表現手段と、

前記扉形前面部材に設けられ前記遊技表現手段を視認可能とする透視窓と、

前記扉形前面部材によって前記前面開閉部材の遊動状態を規制するとともに、前記扉形前面部材の回動外縁側と前記前面開閉部材の回動外縁側とを連結し、前記扉形前面部材が前記閉鎖位置から前記開放位置に回動する際、前記扉形前面部材の横開き動作を前記前面開閉部材に伝達し、該前面開閉部材を回動させることにより前記ユニット本体の前面を開放させる連結具と

を備え、

前記連結具は、

前記前面開閉部材の回動外縁から突出し、先端側が前記扉形前面部材に対して回転自在に連結される連結杆と、

該連結杆を、前記前面開閉部材における回転軌跡の径方向に沿って摺動可能に支持する摺動案内部材と、

一端側が前記前面開閉部材に軸支され他端側が前記連結杆の基部に回転自在に連結され、且つ前記回動軌跡の径方向に折れ曲がり可能な伸縮アームと

を具備して構成されている

ことを特徴とする遊技機。

**【請求項 2】**

請求項 1 に記載の遊技機において、

前記伸縮アームは、一端側が前記前面開閉部材に軸支された第一腕部と、両端が該第一腕部の他端側及び前記連結杆の基部に夫々軸支された第二腕部とから構成され、

前記第一腕部の一端側の回動軸は、前記連結杆の摺動直線上から後側に逸脱した位置に配置されていることを特徴とする

遊技機。

**【請求項 3】**

請求項 1 または請求項 2 の構成において、

前記連結杆を前記前面開閉部材の回動外縁から最も突出させることの可能な最大突出長さは、前記扉形前面部材が前記開放位置である場合の、前記扉形前面部材の回動外縁と前記前面開閉部材の回動外縁との距離に基づいて設定されていることを特徴とする

遊技機。